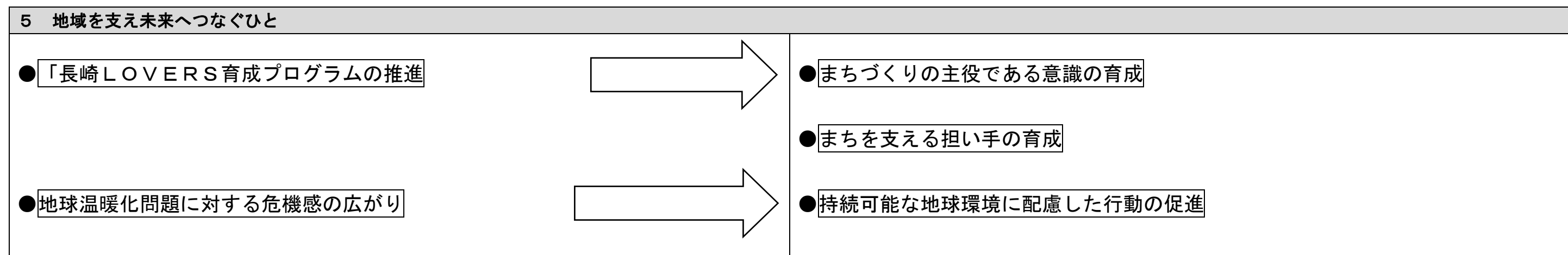


第1期（現状）	第2期（方向性）
1 心身ともに充実し、自ら学び、考え、挑戦するひと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題に沿った学習指導 × 体力向上アクションプラン</li> <li>●芸術文化等の担い手不足・活動への支障</li> <li>●民間投資によるスポーツの振興</li> <li>●ICT活用の進展 × 一人一台学習用端末の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学力向上・健やかな心・体の育成</li> <li>●生涯学習・スポーツ・芸術文化 × つながる</li> <li>× 見る・応援する・親しむ</li> <li>●情報リテラシーの育成</li> <li>●Society 5.0時代を生き抜く力の育成</li> </ul>
2 多様性を認め合い、思いやりの心を持ち、支え合って生きるひと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権教育 × 道徳教育 = 生命や人権の尊重</li> <li>●言語や文化の違いによる支障の解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多様性の尊重</li> <li>●誰一人取り残さない機運の醸成</li> <li>●市民意識の向上 × 学習機会の確保 = 社会の対等な構成員として参画</li> </ul>
3 長崎を愛する心を持ち、世界に貢献するひと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●長崎のまちが持つ個性の継承、活用</li> <li>●先進的な取組み（医学・環境）に対する世界からの期待</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シビックプライドの向上</li> <li>●長崎ならではの教育の創出</li> <li>●持続可能な世界の実現に貢献するひとの育成</li> </ul>
4 被爆の実相を継承し、平和の実現に貢献するひと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●被爆者のいる時代の終わり、被爆者のいない時代の始まり</li> <li>●平和活動に参加する人の固定化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若い世代の語り継ぐひと・アピールできるひとの育成</li> <li>●様々な視点・入口から平和を考えるひとの育成</li> </ul>

※裏面あり



時代の流れ	特に求められる視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少・少子化・高齢化</li> <li>・ Society5.0</li> <li>・ コロナウイルス感染症</li> <li>・ 被爆者がいなくなる時代</li> <li>・ 核兵器廃絶、世界恒久平和に向けた役割を担う被爆都市長崎への期待の高まり</li> <li>・ 持続可能な世界の実現（SDGs）</li> <li>・ 気候変動（災害の激甚化）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活の質の向上（QOL）</li> <li>・ まちづくりの担い手の育成（キャリア教育）</li> <li>・ 情報を活用する力</li> <li>・ 変化に対応する力</li> <li>・ 誰一人とりのこさない</li> <li>・ 語り継ぐ「ひと」の育成</li> <li>・ 平和の発信</li> <li>・ 環境との調和（持続可能性）</li> <li>・ 多様性</li> </ul>